



K-BALLET

KAO PRESENTS

TBS

Tetsuya Kumakawa
K-BALLET YOUTH
 [Kバレエユース 第3回公演]

宮尾俊太郎、杉野慧が初披露する必見のカラボスはじめ
 Kバレエカンパニーから豪華ゲストも出演!



K-BALLET YOUTH 第3回公演「眠れる森の美女」
 2017年8月5日(土) 6日(日) Bunkamura オーチャードホール

[賛助出演]
 宮尾俊太郎

日程/開演	8/5(土) 16:30	8/6(日) 14:00
オーロラ姫	佐伯美帆	八木りさ
フロリムト王子	堀内将平	山本雅也
リラの精	大井田百	吉岡真友子
カラボス	宮尾俊太郎	杉野慧
フロリナ王女	尾崎真奈香	三好梨生
ブルーバード	金瑛揮	岡庭伊吹

[公演に関する詳細] <http://k-balletyouth.com>

[お問い合わせ] チケットスペース 03-3234-9999

[チケット取り扱い]
 チケットスペース 03-3234-9999 (オペレーター対応) チケットスペースオンライン 検索
 TBS オンラインチケット TBS K/BALLETユース 検索
 Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (10:00~17:30)
 オンラインチケット MY Bunkamura <http://www.bunkamura.co.jp/mybunkamura/>
 チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 456-092) <http://pia.jp/t/>
 ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター)・0570-084-003 (Lコード: 33261) <http://l-tike.com/>
 イープラス <http://eplus.jp/>

YOUTH
 ブログ
 更新中!

※開場は開演の30分前
 S席¥8,000/A席¥7,000/B席¥6,000/C席¥4,800(税込)

主催:K-BALLET/TBS/Bunkamura 特別協賛:花王株式会社

◎キャスト予定は2017年3月8日現在のものです。出演者の病気や怪我など、やむを得ない事情により変更となる場合があります。最新のキャスト情報およびイベント詳細は<http://k-balletyouth.com/>にてご確認ください。なお、公演中止の場合を除き、実施するすべての公演に関して、キャスト変更に伴うチケット代金の払い戻し、公演日や券種の変更は原則としてお受けできませんのであらかじめご了承ください。
 ◎公演中止の場合の旅費チケット送料等の補償はいたしかねます。◎本公演は5歳以上の入場が可能です(4歳以下入場不可)。◎演出上開演後の入場は制限させていただく場合があります。

チケット好評販売中!

Photograph: Ayumu Gombi

熊川哲也が選抜した若き才能、無限の可能性が挑む
 絢爛豪華な古典バレエの超大作!!

The Sleeping Beauty
眠れる森の美女

総監督:熊川哲也

2017年8月5日(土) 6日(日) <全2公演> Bunkamura オーチャードホール

美しい時代へ——東急グループ

第3回公演「眠れる森の美女」、2017年夏上演決定！若きダンサーたちが羽ばたく感動のストーリーがここに！！

K-BALLET YOUTH Kバレエ ユースとは？

- ◇ **プロフェッショナルを目指す22歳以下の若手ダンサーで構成され、メンバーはオーディションによって決定**
- ◇ **英国を代表する美術家による豪華な舞台美術、衣裳、フルオーケストラの壮大な音楽で作る総合芸術の世界**
- ◇ **Kバレエ カンパニーのプリンシパルをはじめ、一流の指導陣による1年間に及ぶ徹底したリハーサル**
- ◇ **若いパワーが生み出す無限の可能性を秘めた今しか見られぬ輝きの魅力**



Kバレエ ユース 総監督 熊川哲也

熊川も期待を寄せる才能あふれる次世代のダンサーたち

バレエの道を志す若手ダンサーに生徒からプロへの架け橋となる場を与えたいという思いから、2013年に創設したのがKバレエ ユースです。22歳以下を対象とした厳正なるオーディションにより選ばれたメンバーは、指導はもとより衣裳・美術に至るまでカンパニーと全く同じ環境を与えられます。当然求められるレベルも非常に高く、子供にとっては時に過酷といえるまでの要求になることもあります。しかし、その環境で彼らが見せたこれまでの成長は想像をはるかに超えるものであり、またその無垢な力が生み出す感動は、多くの観客の胸を打つものとなりました。私自身、次世代の才能が持つ無限のパワーを再認識するという恩恵を受けたといっても過言ではありません。才能あふれる彼らの「今だからこそその輝き」が生む感動は、皆様の未来への活力ともなることでしょう。



フロリムト王子

端正な容姿、優雅な身のこなし、洗練された技術……まさに理想の王子像を体現しなくてはならないのが、このフロリムト役。今回この役に挑むのはカンパニー本公演でも抜擢が続いている堀内将平と山本雅也。恵まれた身体と基本に忠実な踊りで高い評価を得ている2人の王子役デビューに、注目が集まる。

オーロラ姫

バレリーナに不可欠な心・技・体を余すところなく要求されるオーロラ姫。初々しい登場から王子と結ばれる厳かな結婚式までの成長を描く表現力も期待される難役である。本公演では、物語の設定と同じ16歳の八木りさと、役に求められる天性の愛らしさを持つ佐伯美帆が挑戦。等身大のオーロラ姫に出会える貴重な機会だ。

ここ見所！キャラクターでみるKバレエ ユース公演でしか味わえない「眠れる森の美女」の魅力

リラの精

オーロラ姫と王子を引き合わせるキーパーソンであるリラの精には、包容力はもちろん、物語を導く凛とした存在感が求められる。役柄の表現には安定した技術が不可欠であり、力量が試される役でもある。今回は、かつてKバレエ ユースで活躍し、カンパニーで期待の新鋭として躍進する大井田 百と吉岡 眞友子が挑む。

カラボス

オーロラ姫に死をもたらそうとする悪役にして妖艶な美をまとうカラボスはこれまで**幾多の名優たちが演じてきた**。普段王子役を当たり役としていたプリンシパル宮尾俊太郎の新境地を堪能できること必至！『白鳥の湖』のロットバルトや『くるみ割り人形』のドロッセルマイヤーなどで強い存在感を示してきた**杉野 慧**とのダブルキャストはどちらも見逃せない。

童話のキャラクターたち

最終幕のオーロラ姫と王子の結婚式には、「青い鳥」や「赤ずきん」など童話世界の主人公がお祝いにやって来る。なかでも、鳥のさえずりに応えるように軽やかに舞う**フロリナ王女**と、重さを感じさせない跳躍で鳥の羽ばたきを表現する**ブルーバード**は、**若手の登竜門**とも言える役。ぜひご注目を。

K-BALLET YOUTH 活動の流れ



メンバーオーディション

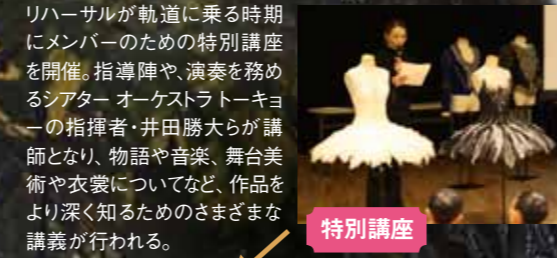
メンバーは厳正なオーディションにより選ばれる。審査には総監督である熊川哲也、芸術監督の小林由明をはじめとする豪華教師陣がある。



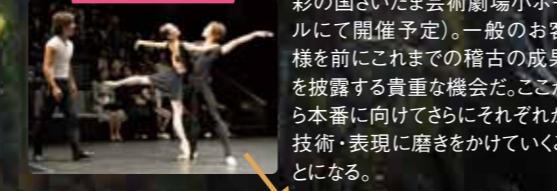
団結式



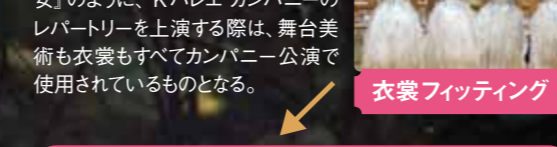
リハーサル



特別講座



公開リハーサル



衣装フィッティング

リハーサルが軌道に乗る時期にメンバーのための特別講座を開催。指導陣や、演奏を務めるシアター オーケストラトーキョーの指揮者・井田勝大らが講師となり、物語や音楽、舞台美術や衣裳についてなど、作品をより深く知るためのさまざまな講義が行われる。

今回はユースでの活動では初となる公開リハーサルも実施(3月、彩の国さいたま芸術劇場小ホールにて開催予定)。一般のお客様を前にこれまでの稽古の成果を披露する貴重な機会だ。ここから本番に向けてさらにそれぞれが技術・表現に磨きをかけていくことになる。

『白鳥の湖』や今回の『眠れる森の美女』のように、Kバレエ カンパニーのレパートリーを上演する際は、舞台美術も衣裳もすべてカンパニー公演で使用されているものとなる。

約1年におよぶリハーサルは、Kバレエ カンパニーが日頃公演に向けて行っているそれと同様のスタイルで行われる。ユースメンバーは技術や演技はもちろん、舞台に立つ心構えや厳しさもここで学んでいくことになる。キャストはリハーサル開始時にはすでに発表されているが、もちろんその後の成果により変更となることも。

舞台稽古を経て、本番へ！

“本物”の経験がもたらす輝きに出会える舞台

それは、「子供たちの一生懸命な姿が感動的」というレベルを、はるかに超えていた。

2013年8月、Kバレエ ユース 第1回 記念公演の熊川版『白鳥の湖』全幕。フル編成のオーケストラ、ヨランダ・ソナベンドの舞台美術、そしてステージにパッと照明が入り、若いダンサーたちが弾けるように踊り始めた。驚いたのは彼らの表現力だ。第1幕のワルツの花びらのような軽やかさ、第3幕のキャラクター・ダンスのスパーク感、いわゆる“立ち役”の自然な演技。もちろん、メインキャストたちの踊りの完成度と、ふと垣間見える初々しさにも胸をつかまれた。カーテンコールでは、通常ならば静かな表情で控えていることの多い白鳥の群舞のメンバーからも、嬉しそうな笑顔がこぼれていたのが愛おしかった。

Kバレエ ユースの目的は、“本物”の舞台経験を子供たちに与えること。そこには、音楽や美術といった上演環境のほか、学校の休日を使って重ねる厳しいリハーサルの時間も含まれる。彼らの取り組みは、日本のバレエ教育という大きなテーマにも、一つの可能性を示している。バレエを習う子供たちの裾野の広さがこの国のバレエの根拠を支えている一方で、プロになるための道筋が見えず、取り急ぎコンクールを目指し、ソロを踊る技術をひたすら磨く若者は多い。しかしプロになるとは、地道な基礎訓練とリハーサルの

繰り返し“仕事”になり、まずは群舞の一人、立ち役の一人を100%のエネルギーで演じられるようになることだ。かつてのユースメンバーが、今やカンパニーの舞台上で躍動している姿を見るたびに、そのことをしみじみと考えさせられる。

2015年4月に行われた第2回公演は、Kバレエ ユースのために新制作された全幕『トム・ソーヤの冒険』だった。演出・振付は小林由明芸術監督。伸び盛りの彼らに必要なものと、その時期だからこそその魅力を知り尽くした小林の振付は、メンバーと作品を隔々まで輝かせた。この公演の成功を受け、ユース設立の意義を改めて評価された熊川が、同年のモンブラン国際文化賞を受賞したことも記憶に新しい。そして待望の第3回公演は2017年8月、演目は何と『眠れる森の美女』全幕だという。みずみずしいオーロラ姫、若く勇ましいフロリムト王子、愛くるしいおとぎ話の主人公たち……想像するだけで、わくわくする。

文：阿部さや子(オン・ボワント)



第1回記念公演『白鳥の湖』(2013年) 第2回公演『トム・ソーヤの冒険』(2015年・世界初演)

KAO PRESENTS
Tetsuya Kumakawa
K-BALLET YOUTH
[Kバレエユース 第3回公演]
眠れる森の美女

【総合演出・総監督・再振付】熊川哲也 【芸術監督】小林由明
【美術・衣裳】ピーター・ファーマー 【指揮】井田勝大
【管弦楽】シアター オーケストラトーキョー 【出演】Kバレエ ユース / Kバレエ カンパニー